

平成23年度 渡島管内教育委員研修会「事例発表概要」

## 「地域に密着した教育委員活動について」

福島町教育委員会 教育委員長 平 沼 竜 平

### ◎ 「はじめに」 福島町の概要

#### 1. 福島町の児童生徒の推移について

##### (1) 町人口・児童生徒の推移

- ・ ピーク時（青函トンネル工事）から現在まで（別紙、資料1）

##### (2) 学校等の統廃合案の浮上

###### ① 地域全体で、幼稚園や学校のあり方を考える機運が高まる。

- ・ 幼小中町民参加による合同運動会の開催実施。（町民運動会を拡大継続）

###### ② 町立吉岡幼稚園における幼保一元化制度の検討

- ・ 幼児数減少に伴う町立吉岡幼稚園の閉園問題の提起
- ・ 保護者の閉園反対の動きに合わせ、町内の幼稚園（町立・私立）と保育所の保護者による「福島町の幼児教育のあり方」の策定会議の設置。  
（平成18年度からの自立プランにより、幼稚園の統合閉園を計画。）

#### 2. 中学校等の統廃合検討への取り組み

教育委員会として、吉岡幼稚園や吉岡中学校のあり方について、保護者の考えや地域の声を聞く活動を展開。

##### (1) 教育委員の役割と取り組み

###### ① 保護者との懇談において、教育委員として下記の事項に留意。

- ・ 一つひとつの疑問点、不安点の解消に努める。
- ・ 4年間に渡る懇談会を開催。（内容、回数は、別紙、資料2）

###### ② 中学校1年生の思い（アンケート）として、町長への嘆願書の提出行動。

（中学校1年生の町長への嘆願書に対する、教育委員と中学1年生と保護者との懇談会開催）

###### ③ 議会における質疑を通して、吉岡幼稚園の閉園や、吉岡中学校の統廃合に否定的な意見が出る。

- (2) 議会における「教育委員会委員の任命」の同意の否決
- ① 平成20年の9月議会において、任期満了に伴う2名の教育委員の継続任命同意の提案議案が、賛成少数で否決される。
  - ② 改めて教育委員が選任された新たな体制構築の中で、保護者、地域住民への説明・懇談会を再開。
- (3) 統合に向けた課題等の整理
- ① 生徒交流授業を重ねることにより、児童生徒の融和が拡大。(別紙、資料3)
  - ② 統合に伴う町や団体からの支援策の実施。
    - ・ 制服購入費等の支援・・・制服・ジャージ・かばん等
    - ・ 町内衣料品店加盟団体からTシャツ・ジャージ上・ジャージ袋の寄贈
  - ③ 通学(帰宅)バスの運行決定(町の大型バスを使用)
- (4) 吉岡地域に小学校を存続させていくことへの取り組み
- ① 吉岡小学校校舎に耐力度を考慮した場合、耐震補強実施の課題があったことから、中学校統合による吉岡中学校の閉校後、吉岡小学校の移転を計画。
  - ② 中学校内のパソコンの更新時期でもあり、LAN設置工事方法等、予算軽減を目標に、臨時の「親の会」を結成。(八雲町に講師依頼をし、講習会を開催)

### 3. 閉校後の校舎へ吉岡小学校を移転するための改修工事の実施

- (1) 耐震化基準の改正により、吉岡小学校校舎が調査対象
- ① 耐震基準を満たすには、多額の事業費を要することとなる
  - ② 吉岡小学校の移転を中学校校舎への機運が盛り上がる
- (2) 小学校移転に伴う工事関係(事例の少ない取り組み)
- ① 中学生の高さ・サイズであった校舎弊害の解消策の展開
  - ② 学校全体の階段の高さ変更(小学生基準に基づく改良)
  - ③ 玄関のバリアフリー化(玄関までのスロープ・玄関内のスロープ)
  - ④ 下足箱・手洗い場の高さの変更
  - ⑤ 便器の大きさ・高さの変更
  - ⑥ バスケットボードの高さの変更

### 4. 現在の主な取組事業

- (1) 吉岡幼稚園の統廃合への取り組み
- ・ 保護者と、平成25年度整備予定の「認定こども園」への移行協議が整う。

- (2) 中学校数学のT T授業の強化
  - ・ 基礎学力向上のため、平成22年度より、統合後の福島中学校へ数学の教員免許のある人材を、町の臨時教諭として採用配置。
- (3) 学校訪問の拡大強化
  - ・ 学校管理職との懇談と授業参観、給食の試食を実施。
- (4) P T A等との懇談会開催
  - ・ 各学校P T A役員と教育全般に渡って、懇談会を開催。
- (5) 教育行政執行方針等への提言
  - ・ 本年度より、教育行政を推進していく姿勢を、教育委員会として町部局にさらに求めていく姿勢を示すことが必要であるとして、「教育委員会評価」を改めて検証し、新年度の執行方針や予算等への提言を行うこととしている。